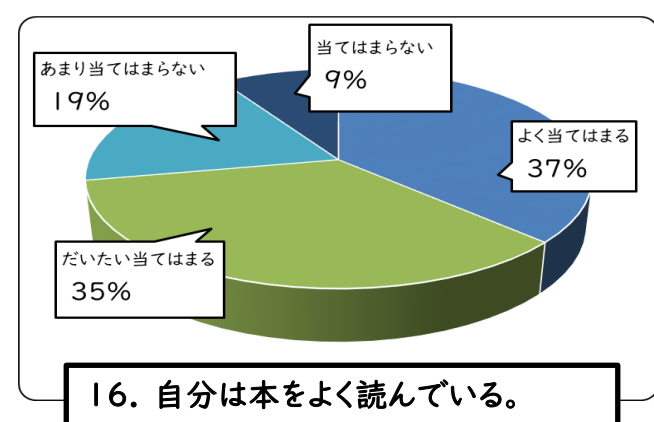
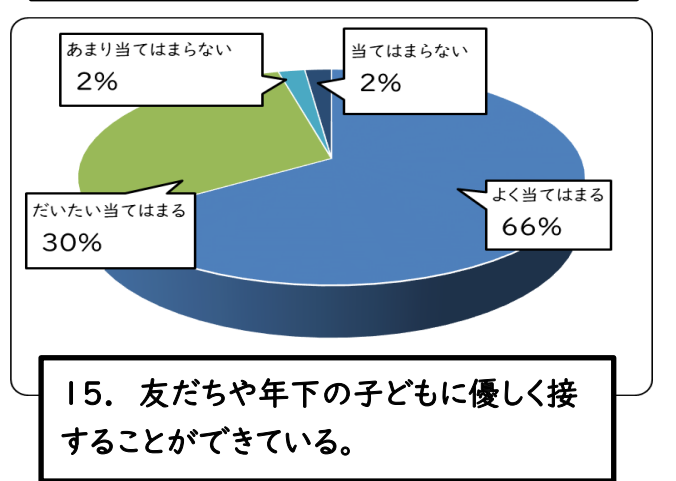
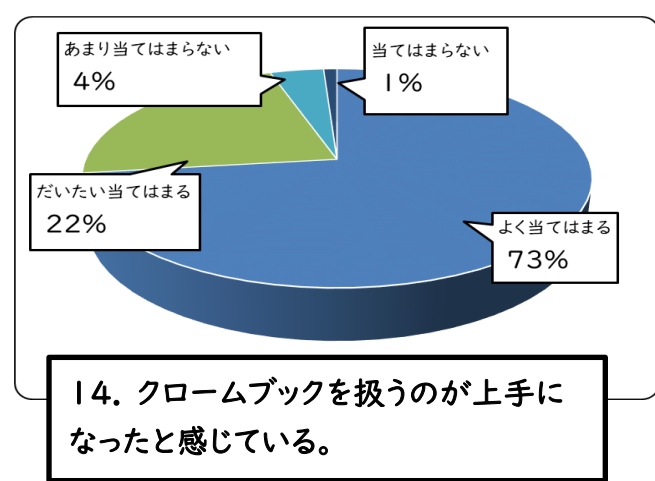
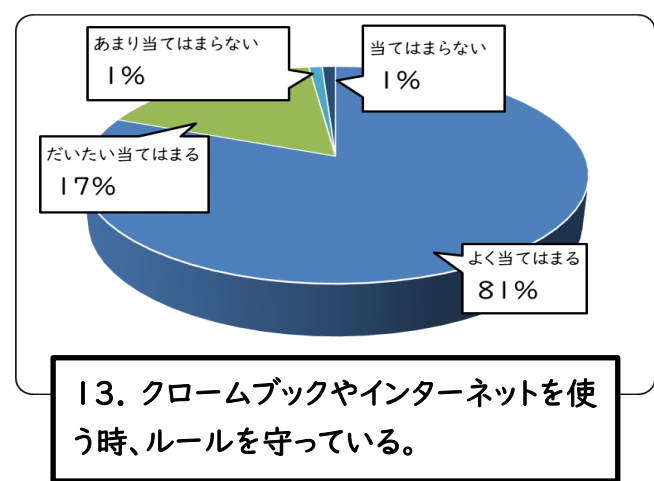
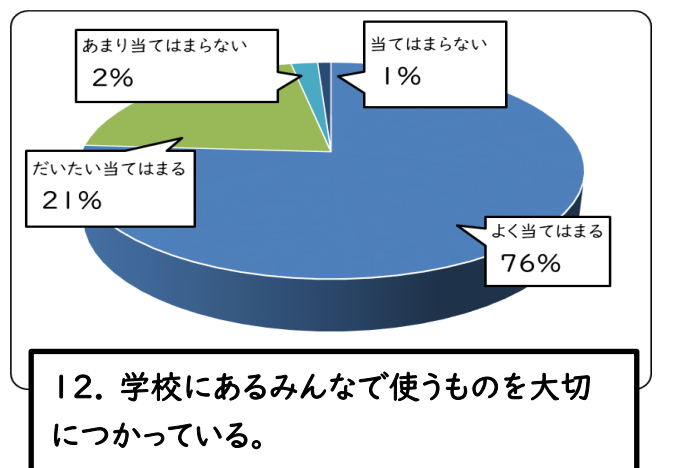
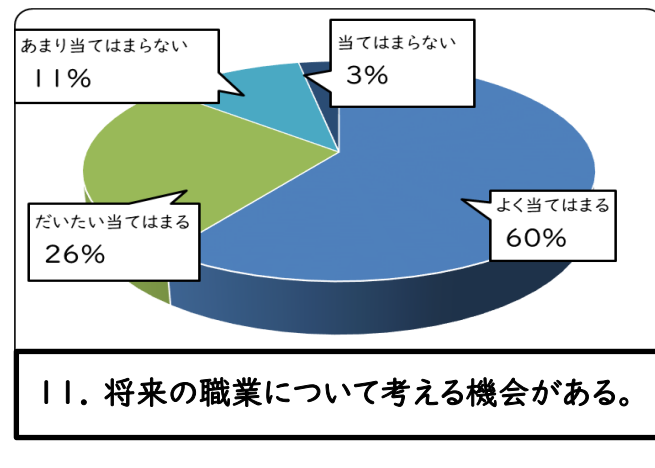
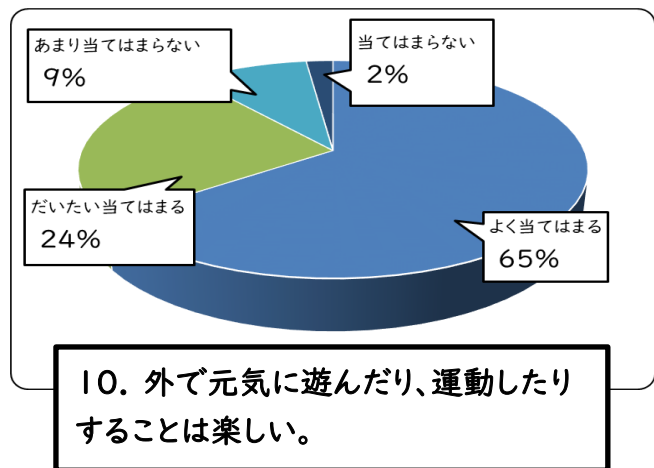
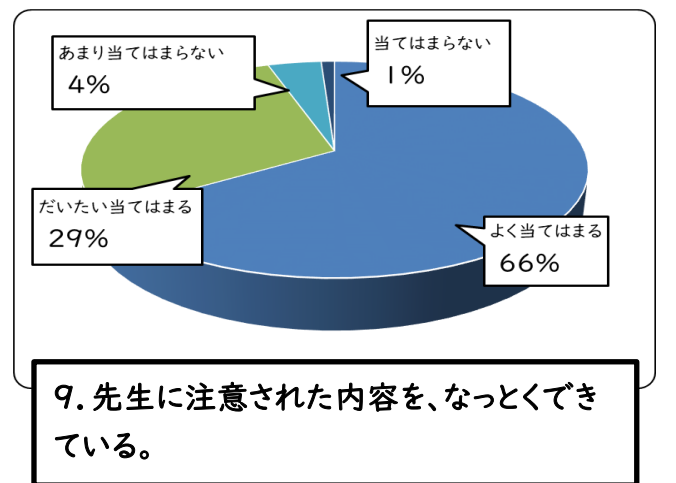
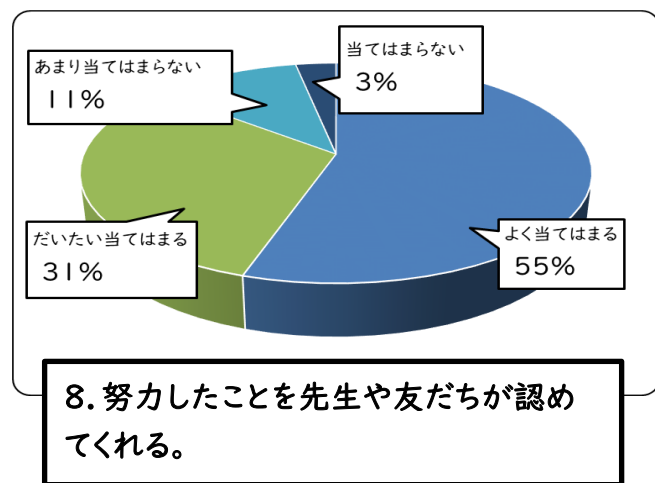
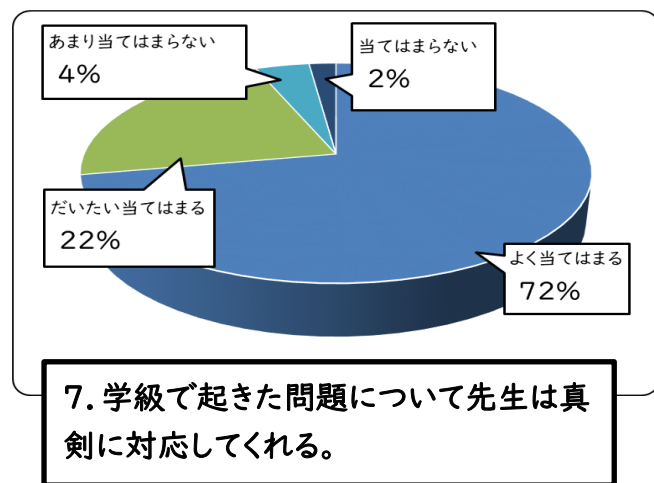
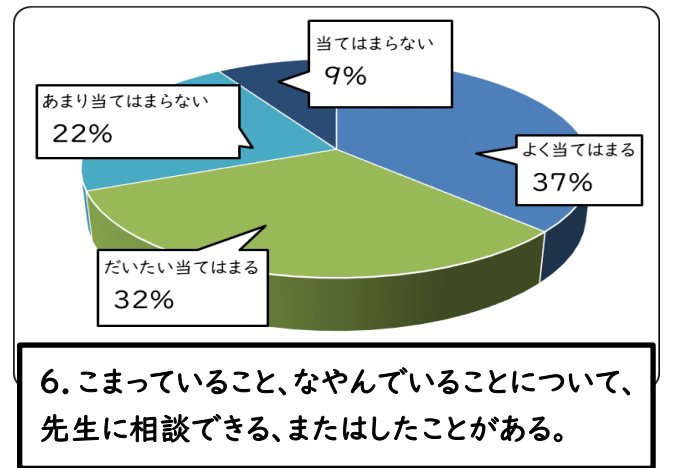
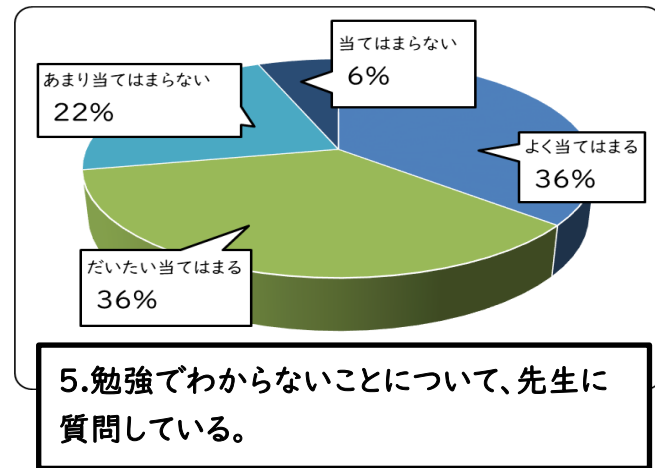
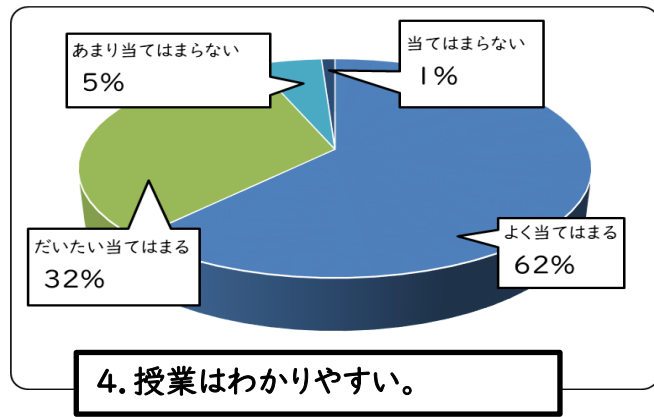
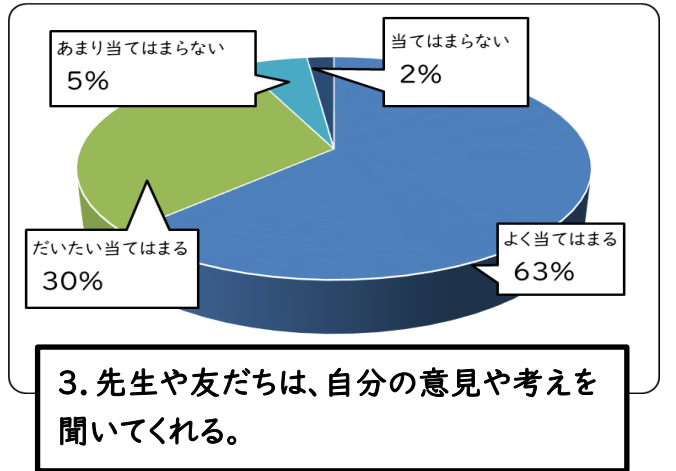
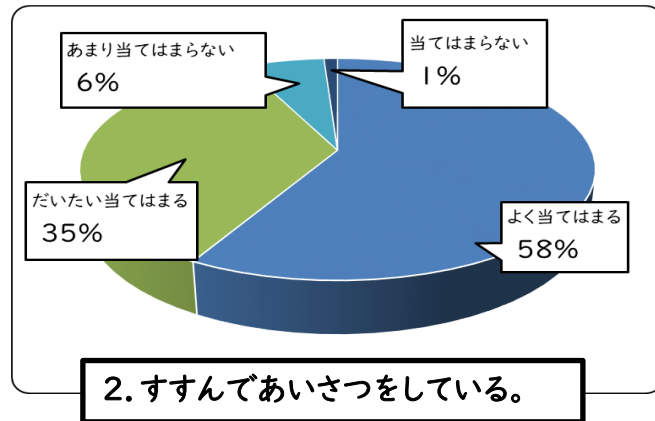
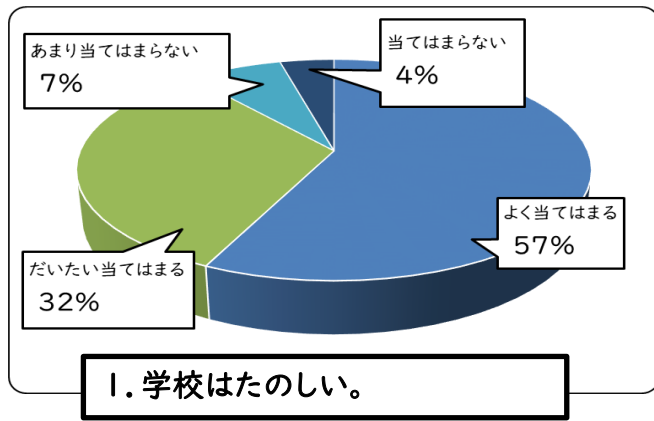


令和5年度 学校診断 児童アンケート結果



【結果を受けて】

- 設問1は、昨年とほぼ同じ割合で肯定的な回答が多く、学校生活を健やかに楽しくすごしているのだと捉えています。11%のネガティブな回答が見られることも注視し、みんなが笑顔でいられる学校づくりを目指して、取り組んでいきます。
- 設問3は、今年度から加えた設問で、教員が「対話的な授業づくり」を目指して実践している成果の一端を見ることができました。肯定的な割合が9割を超えましたが、さらなる研鑽を重ね、児童が主体的に学ぶ授業づくりを目指していきます。
- 設問6も新設ですが、ネガティブな回答が3割を超えました。全学年でのアンケートですので、思春期に入って、困っていることを大人には表出しにくいという子もいるのかもしれませんが、自己解決できれば、それも成長につながる大事なプロセスですが、蓄積してどうにもならない域に達してしまうことは防がなければなりません。3学期から導入している、クロームブックを用いた「このころの天気」も活用しながら、児童に寄り添い、丁寧に対応していきたいと思えます。